

(福) ケアハウス信愛館

◆暖冬により今年は早々と二月に桜の開花予想が出されていましたが、新型肺炎の流行により様々な影響も報道されています。

信愛館でも入居者皆様がお互いに手洗いの徹底、マスク着用、外出を控える等、日常生活に細心の注意を払い過ごされています。

◆一月二十八日(火)平成三十一年度資金収支補正予算、令和二年度事業計画並びに資金収支予算案が社会福祉法人近江兄弟社地塩会の理事会で報告・承認されました。続いて理事長の職務執行状況について報告がありました。

◆二月十日(月)「絵本を読む会」が行われ、今回は鶴谷頼子様による絵本の読み聞かせが行われました。取り上げられた絵本は「スーホーの白い馬」。教科書にも載っているモンゴルの民話でご存知の方も多いと思います。まず挿絵を描いた方について、また物語が作られた背景について説明を聞きました。美しい挿絵を見ながら「馬頭琴」の由来

についても知ることができ、まるでモンゴルの広大な草原が目の前に浮かんでくるような見事な読み聞かせでした。

◆二月十二日(水)「藤居本家・酒蔵見学ツアー」に出かけました。最初に「杉玉」またの名を「酒林」とも言いますが、その意味や由来、いつ頃の季節に作られるの

かなど、目的はおいしいお酒ができるように願って各地で古くから軒先に吊るされていたと説明されました。酒蔵内にある伏流水を試飲できるところでは水が豊かに湧き出ている、山に降った雨水がこの場所まで来るには百年かかり、時間をかけて大地でろ過された水がおいしい酒を作るうえで不可欠であるとのこと。滋賀県は古くから知られている「江州米」の米処として日本酒作りには最適の土地で、各酒蔵が工夫を凝らした結果、それぞれ味の違いになりこだわ



りの名酒が生れ、県民に愛飲されていることがわかりました。この後あれこれ迷いながら買い物を楽しみ、帰途に寄った喫茶店でおしゃべりも弾み、この日は晴天に恵まれ暖かい日でしたので参加された皆様は笑顔がいつぱいでした。

◆二月二十五日(火)「ぜんざいの会」が行われました。幼い頃から親しんだなつかしい味、なかでもお餅は皆様大好物で多くの方がおかわりされていました。